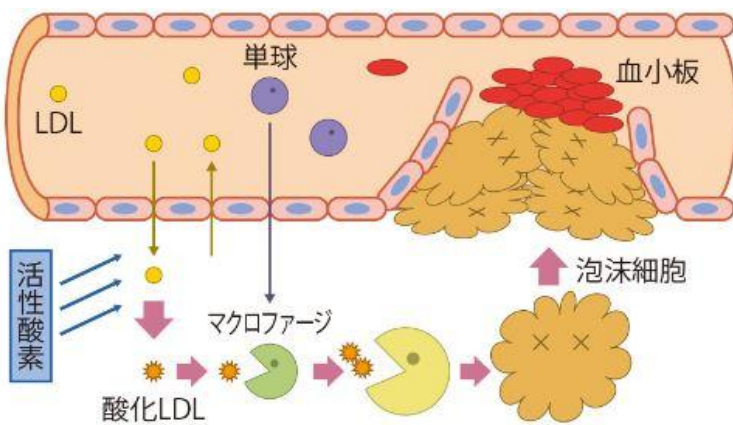
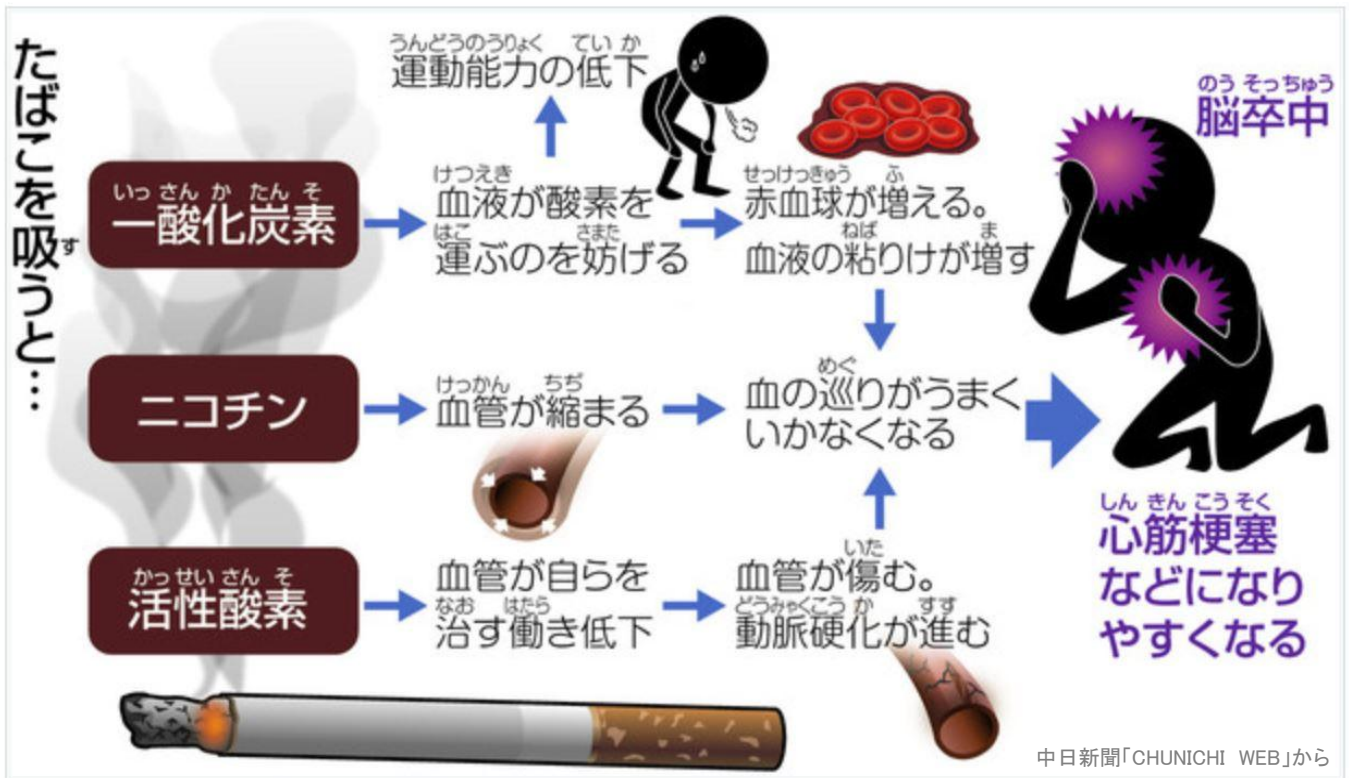


週刊 タバコの正体

タバコに含まれる有害物質は健康を害し、いろいろな病気の原因となります。たとえば下図にあるように「脳卒中」や「心筋梗塞」を発症する確率が高くなります。この事はタバコのパッケージにも印刷されているほど確かな事実なのですが、どちらも「血管」が関係しています。簡単に言えば、脳の血管が傷むと「脳卒中」、心臓の血管だと「心筋梗塞」を発症すると言うわけです。



動脈硬化の発生メカニズム

Nestle「ネスレアミューズ」サイトから

タバコを吸い続けると、どのように血管が傷むのか言うと、左図に示すように血管の壁にコブのようなものが出来始めます。この現象は「動脈硬化」と呼ばれ、その部分の血管が狭くなり血液が流れにくくなり、最悪の場合、詰まったり破れたりして、血液が止まります。

すると血液が届かなくなった細胞は死んでしまい、その箇所が脳や心臓だと、命にかかわる緊急事態となるのです。

身体の隅々まで血液を送る血管がこんな風に傷つくなんで、想像するだけでも怖くなりますよね。タバコはそんな状況を作ってしまうのです。

産業デザイン科 奥田 恭久